

◆DX化でUPする! 学生さん本人のモチベーション(学生生活)

貴学における教学DX化による学生個人への情報『気づき』配信について(案)

分析モデル案(例)

【コンセプト】

『学生の日々の行動の道しるべ』
学部、学科における他学生の動向と自分のポジションの確認

【提供情報例】

学修成果の可視化

情報提供(配信)方法
・要検討
・ポータルへの情報配信

「自分のポジションの確認」

- 学部(学科)のGPA、修得単位数、出席率と上位?%、下位?%(自分の値と平均値、中央値、標準偏差または分散)



定性効果: 気づき

「学部、学科における他学生の動向」

- 同学部の学生が図書館で借りた書籍ランキングと自分が借りた書籍の履歴(月間、週間、学科、学年フィルタ)
- 次年度の学生が履修している科目
- 授業ランキング



定性効果: 気づき

「将来に向かって」

- 希望の業種に就職した学生の行動履歴
→卒業生の成績、就職結果情報との対比(目安)
(勉強時間、課外活動、資格、インターシップ、就職活動結果情報「先輩の声」)
- 外部情報ソース活用(経済情報雑誌、等)今年の就職希望人気企業Top100社



例) 目標可能度: 70%